

#### 第4部 敗戦の体験 第1章 真珠湾攻撃からポツダム宣言へ

太平洋戦争が始まって半年間、日本軍は破竹の勢いで進んだ。グアム占領(1941年12月)、マニラ占領(1942年1月)、シンガポール占領(1942年2月)、ジャワ島上陸(1942年3月)、ラングーン占領(同年同月)、バターン半島占領(1942年4月)、ビルマのマンダレー占領(1942年5月)。一方、太平洋ではハワイ諸島の東には進めなかった。1942(昭和17)年6月に西太平洋のミッドウェー海戦で、空母四隻を失う。これを機に日本軍は劣勢に転じる。

日本軍の撤退や全滅は各地で相次いだ。ガダルカナルに米軍上陸、ソロモン海戦(ともに1942年8月)、ガダルカナル(1942年12月)、ニューギニア(1943年1月)、アッツ島(同年5月)、マーシャル群島(1944年2月)、サイパン島(同年6月)、グアム島(同年7月)、テニアン島(同年8月)、レイテ沖海戦(同年10月)と敗北が続く。

サイパン、グアムを失い、日本周辺の制空権、制海権を奪われ、B29の日本列島への空襲が1944(昭和19)年10月以降本格的に始まった。空襲だけではなく、海岸近くから砲撃す



#### 第4部 敗戦の体験 第1章 真珠湾攻撃からポツダム宣言へ

る「艦砲射撃」も各地で受けた。1945（昭和20）3月9日の深夜から10日未明にかけて、東京に対しておよそ300機のB29による夜間無差別爆撃が行われ、22万戸の家屋が焼失し、12万人の死傷者が出た（写真：1945年3月10日の東京大空襲を受けて焼け野原になった東京・両国付近。手前右の丸い建物は領国国技館、左手の四角い建物は両国小学校、右手に流れる川は隅田川）。

続いて3月13日には名古屋が、14日には大阪が、17日には神戸が大空襲を受ける。4月1日にアメリカ軍は沖縄本島に上陸、6月23日に守備軍が全滅する。にもかかわらず、最高戦争指導会議は、6月8日に「本土決戦」を決め、新聞・ラジオも「聖戦貫徹」「焦土作戦」を唱え、戦意を鼓舞しつづけた。

一方、連合国は、1945年2月にヤルタ会談で（米英ソが参加）、ドイツの戦後処理のほかに、ソ連の対日参戦と、ソ連の南樺太、千島列島の領有を認めた。さらに7月にはドイツのベルリン郊外ポツダムで米英ソによる会議をもち、会議における合意に基づいて、米英と中国による日本の無条件降伏を求めるポツダム宣言を出した。後日にソ連が署名に加わった。しかし、鈴木貫太郎内閣は7月28日「ポツダム宣言黙殺・戦争邁進」の談話を発表する。

アメリカ軍は、8月6日広島に、同9日に長崎に原子爆弾を投下し20万を超える犠牲者が生じた。しかも8月8日にはソ連が対日宣戦布告する。8月14日御前会議が開かれ、昭和天皇の「裁断」によってポツダム宣言を受け入れることを決定。8月15日正午の「玉音放送」によって、敗戦が詔勅という形で告げられた。詔勅は以下のとおりである。

朕深ク世界ノ大勢ト帝国の現状トニ鑑ミ非常ノ措置ヲ以テ時局ヲ收拾セムト欲シ茲ニ  
忠良ナル爾臣民ニ告グ

朕ハ帝国政府ヲシテ米英支蘇四国ニ対シ其ノ共同宣言ヲ受諾スル旨通告セシメタリ  
抑々帝国臣民ノ康寧ヲ図リ萬邦共栄ノ樂ヲ偕ニスルハ皇祖皇宗ノ遺範ニシテ朕ノ拳々  
措カサル所曩ニ米英二国ニ宣戦布告セル所以モ亦実ニ帝国ノ自存ト東亜ノ安定トヲ庶  
幾スルニ出テ他国ノ主權ヲ排シ領土ヲ侵スカ如キハ固ヨリ朕カ志ニアラス然ルニ交戦  
已ニ四歳ヲ閲シ朕カ陸海将兵ノ勇戦朕カ百僚有司ノ励精朕カ一億衆庶ノ奉公各々最善  
ヲ尽セルニ拘ラス戦局必スシモ好転セス世界ノ大勢亦我ニ利アラス加之敵ハ新ニ残虐  
ナル爆弾ヲ使用シテ頻ニ無辜ヲ殺傷シ惨害ノ及フ所真ニ測ルヘカラサルニ至ル而モ尚  
交戦ヲ繼續セムカ終ニ我カ民族ノ滅亡ヲ招来スルノミナラス延テ人類ノ文明ヲモ破却  
スヘシ斯ノ如クムハ朕何ヲ以テカ億兆ノ赤子ヲ保シ皇祖皇宗ノ神靈ニ謝セムヤ是レ朕  
カ帝国政府ヲシテ共同宣言ニ応セシムルニ至レル所以ナリ

朕ハ帝国ト共ニ終始東亜ノ解放ニ協力セル諸盟邦ニ対シ遺憾ノ意ヲ表セサルヲ得ス帝  
国臣民ニシテ戦陣ニ死シ職域ニ殉シ非命ニ斃レタル者及其ノ遺族ニ想ヲ致セハ五内為  
ニ裂ク且倚戦傷ヲ負ヒ災禍ヲ蒙リ家業ヲ失ヒタル者ノ厚生ニ至リテハ朕ノ深ク朕軫念  
スル所ナリ惟フニ今後帝国ノ受クヘキ苦難ハ固ヨリ尋常ニアラス爾臣民ノ衷情モ朕善  
ク之ヲ知ル然レトモ朕ハ時運ノ趨ク所堪ヘ難キヲ堪ヘ忍ヒ難キヲ忍ヒ以テ萬世ノ為ニ  
太平ヲ開カムト欲ス

朕ハ茲ニ国体を護持シ得テ忠良ナル爾臣民ノ赤誠ニ信倚シ常ニ爾臣民ト共ニ在リ若シ  
夫レ情ノ激スル所濫ニ事端ヲ滋クシ或ハ同胞排擠互ニ時局ヲ乱リ為ニ大道ヲ誤リ信義  
ヲ世界ニ失フカ如キハ朕最モ之ヲ戒ム宜シク拳国一家子孫相伝ヘ確ク神州ノ不滅ヲ信

シ任重クシテ道遠キヲ念ヒ総力ヲ将来ノ建設ニ傾ケ道義ヲ篤クシ志操ヲ鞏クシ誓テ国  
体ノ精華ヲ発揚シ世界ノ進運ニ後レサレムコトヲ期スヘシ爾臣民其レ克ク朕カ意ヲ体  
セヨ

裕仁 天皇御璽

昭和二十年八月十四日

日本は1945年9月2日に降伏文書に調印した。日本を含めてアジア全体で2000万人以  
上の民を犠牲にした戦争は、ついに日本の敗北に終わった。